

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117200
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	環境市民活動支援補助金				補助金の分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)
						<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)
						<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
						<input type="radio"/> (6)その他
②支出の根拠	決裁					
③支出先	環境ネットせき					
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	環境ネットせき(団体)			に対して	
	手段	活動資金の補助			を行うことで	
	受益者	環境に対する市民レベルの活動展開が活性化し			が(を)	
	意図	環境基本計画に定める関市が目指す将来像に近づく			という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 16 年度			
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1人	あたり	1,000 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	0	50	250	250	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	R3はコロナ対策のため中止した事業があるため、予算より少ない補助金額となった。					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	358 千円	R4歳出決算額	293 千円	翌年度繰越額	65 千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	69.8 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	地道な活動の一過程として推進されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	環境配慮の民間先導役の活動停滞

ごみ問題から地球温暖化まで幅広い環境活動の民間先導役として果たす役割は大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117200
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	環境フェア		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
②支出の根拠	決裁					
③支出先	環境フェアせき実行委員会					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	環境フェアせき実行委員会			に対して	
	手段	イベント開催に係る事業経費の補助			を行うことで	
	受益者	来場者			が(を)	
	意図	環境保全意識の高揚と環境関連情報の効果的な発信を行う			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日		補助・負担開始年度	平成	16	年度
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他	( )
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	0	500	500	500	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	H21、22においては、海づくり大会関連イベントとして実施した為、同大会推進協議会への支出とし、金額も2年に限り増額。H29においては実績に応じて減額。R2においては、新型コロナウイルス感染症防止による環境フェア中止のため、支出なし					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	643千円	R4歳出決算額	643千円	翌年度繰越額	0千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		77.8%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	環境取組を進める団体の発表の場として必要

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	R4より規模を大きくしたことで来場者が増加し市民への啓発につながった。今後もこの規模を継続していくかどうかや他イベントとの共催なども含め検討が必要である。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117200
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	太陽光発電設備等設置補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市太陽光発電設備等設置費補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 太陽光発電設備等設置者					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
	④国・県の負担					なし
国・県の負担あり					負担割合	100%
⑤支出の目的				対象	市民	に対して
				手段	太陽光発電設備及び蓄電池の設置に対する補助	を行うことで
				受益者	市	が(を)
				意図	再生可能エネルギーの利用促進及び温室効果ガスの排出削減を図り、脱炭素社会の実現	という状態にする
⑥期間	R4年8月1日～R5年3月31日				補助・負担開始年度	令和4年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○ その他(非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	7万円/1kw
	0	0	3,849	20,395	単価を定めている→算式	
				定額補助・負担	その他( )	
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円		R4歳出決算額	千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%		○ 決算額を把握していない	
				翌年度繰越額	0千円	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	再生可能エネルギーの普及の遅延

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	県補助がR5年度に終了するため、継続について検討する。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117550
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	資源ごみ集団回収事業奨励金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市資源ごみ集団回収事業奨励金交付要綱				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先	PTA、子ども会、自治会等				(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	PTA、子ども会、自治会等営利を目的としない市民で構成する団体				に対して	
	手段	新聞紙等の交付対象となる資源ごみを資源回収業者に引き渡した重量に応じて奨励金の支払い				を行うことで	
	受益者	市民の				が(を)	
	意図	リサイクル意識の高揚を図る				という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日		補助・負担開始年度	平成13年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他( )			
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,321	2,185	3,019	3,801	○単価を定めている→算式	1kgあたり3円
					定額補助・負担	その他( )
②過去における見直し状況	市の古紙回収が終了した影響もあるため、代替事業としてより推奨していく事業であると考え、R3より1kg=1.5円を3円に増額した。					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	○ 適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	○ していない
	支出額・補助・負担率は適正か	○ 増額の余地あり
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	○ 1,006tの回収実績がありリサイクル意識の高揚につながっている
	交付先の事業成果は向上しているか	○ -
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	○ 交付先との十分な協議が必要であり、影響は大きいと考える

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117550
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	生ごみ発酵促進剤購入補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 決裁					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 生ごみ発酵促進剤等販売者					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
						(5)個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担					○なし	国・県の負担あり	負担割合
県					負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	生ごみ発酵促進剤購入者				に対して		
	手段	生ごみ発酵促進剤に係る費用の2分の1以内の補助				を行うことで		
	受益者	市民				が(を)		
	意図	一般家庭から排出される生ごみの減量化と資源の再利用の意識の高揚を図る				という状態にする		
⑥期間	R4年4月1日	~	R5年3月31日	補助・負担開始年度	平成5年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○	その他(非該当)		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	2分の1以内
	348	326	379	463		単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他( )	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	○ 決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成には至っていないが促進されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	生ごみの排出量が増加する

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続	○	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討		5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)					



令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117550
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	生ごみたい肥化装置等購入補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 関市生ごみたい肥化装置等購入補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 生ごみたい肥化装置等購入者					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
						(5)個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担					○なし	国・県の負担あり	負担割合
県					負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	生ごみたい肥化装置等購入者				に対して		
	手段	装置等購入に要する経費の2分の1以内(限度額有)の補助				を行うことで		
	受益者	市民				が(を)		
	意図	生ごみのたい肥化及び庭木の小枝、落葉等の家庭内での有効利用を促進し廃棄物の減量化に寄与する				という状態にする		
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日		補助・負担開始年度	平成	4	年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○	その他(非該当)			
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり	円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	2分の1以内	
	1,338	2,376	2,262	2,400		単価を定めている→算式		
②過去における見直し状況		平成26年度より電気式生ごみ処理機の補助金限度額を20千円から25千円に見直しを行った。また、買い換え需要の増加に基づき、補助金交付後5年以上を経過した場合に限り、再度補助金の交付対象とした。						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円		R4歳出決算額	千円		翌年度繰越額	0千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%		○	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成には至っていないが促進されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	家庭ごみの排出量が増加する	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)				

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117700
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	飼主不明猫避妊手術費用助成				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 関市飼主不明猫避妊手術事業補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 飼主不明猫避妊手術を行った者					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
						(5)個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担					○なし	国・県の負担あり	負担割合
県					負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	飼主不明猫の避妊手術等を受けさせる市民				に対して		
	手段	避妊手術に要する経費の2分の1以内(限度額有)の補助				を行うことで		
	受益者	市民				が(を)		
	意図	飼主不明猫の増加の抑制を通じた快適な生活環境が保持された				という状態にする		
⑥期間	R 4 年 10 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	令和 4 年度					
⑦事務局体制	主に市の担当課	主に支出先団体	○	その他 (非該当)				
⑧構成員の負担	負担なし	負担あり	負担額	あたり 円				

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	2分の1以内
	0	0	64	200		単価を定めている→算式	
				定額補助・負担	その他 ( )		
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	○ 決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	飼主不明猫の増加による生活環境の悪化

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)				

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	118000
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	墓地整備補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市地域墓地整備補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 地域墓地を整備する市内の地区、自治会等					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
	④国・県の負担					○なし
県負担あり 負担割合 負担額 千円						
⑤支出の目的	対象	地域墓地を整備する市内の地区、自治会等			に対して	
	手段	対象となる整備にかかる経費の2分の1に相当する額の補助(上限1,000千円)			を行うことで	
	受益者	地域墓地を整備する市内の地区、自治会等			が(を)	
	意図	地域墓地の環境の維持及び向上を図ることを目的とする			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日	~	R5年3月31日	補助・負担開始年度	平成6年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課	主に支出先団体	その他 ( )			
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○補助・負担率を定めている→補助率	2分の1
	1,000	1,797	0	1,061	単価を定めている→算式	
				定額補助・負担	その他 ( )	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	0千円		R4歳出決算額	0千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない	翌年度繰越額	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	地域墓地整備の停滞

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			



令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	118020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	合併処理浄化槽設置補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠 関市浄化槽設置補助金交付要綱				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先 下水道未整備地区で新たに合併浄化槽を設置する者				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					○(5)個人に対する補助金・負担金	
			(6)その他			
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	1/3	負担額	千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	1/3	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	市民			に対して	
	手段	合併処理浄化槽を設置する費用の一部補助			を行うことで	
	受益者	下水道未整備地区で新たに合併浄化槽を設置する者			が(を)	
	意図	し尿及び生活雑排水による生活環境の悪化並びに公共用水域の水質汚濁の防止を図る。			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日			補助・負担開始年度	平成16年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課		<input type="checkbox"/> 主に支出先団体		○その他(非該当)	
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし		<input type="checkbox"/> 負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,485	768	585	6,174	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	○その他( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円		R4歳出決算額	千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%		○決算額を把握していない	
R4歳入に占める補助・負担金の割合		%		○決算額を把握していない		翌年度繰越額 0千円

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	下水道未整備地区の合併浄化槽の普及には有効と考える。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	119300
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	ごみ集積場設置事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市ごみ集積場整備事業補助金交付要綱				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先	ごみ集積場を整備する市内の自治会又は市民による住民自治組織				(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	ごみ集積場を整備する市内の自治会、市民による住民自治組織			に対して		
	手段	対象となる整備にかかる経費の2分の1に相当する額の補助(補助金については上限等の制約あり)			を行うことで		
	受益者	ごみ集積場を整備する市内の自治会、市民による住民自治組織			が(を)		
	意図	ごみ集積場の維持及び向上を図ることを目的とする			という状態にする		
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日	~	R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 27 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	2分の1以内
	1,918	3,059	1,430	2,000		単価を定めている→算式	
						定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円		R4歳出決算額	千円		翌年度繰越額
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%		○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ごみ集積場整備の停滞

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	119500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	リサイクル推進協議会補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	決裁				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先	関市民リサイクル推進協議会				(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	関市自治会連合会各支部(執行部役員、各支部支部長)				に対して	
	手段	リサイクル事業の推進啓発、分配金の適正化				を行うことで	
	受益者	関市全戸				が(を)	
	意図	リサイクル運動の推進並びに資源愛護思想の普及を図る				という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日		補助・負担開始年度	昭和	61	年度	
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他( )				
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	900	900	900	900	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	段階的に減額・いずれは廃止の方針で、平成22年度に本年度を終期としてはどうか役員会に諮ったが、現地にカゴやネットを設置(組み立て)をしたり、ごみの分別の指導や役員が見張る等はもうしなくてよいのかとの意見もあり、再度見直しをしているところ。					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	900千円	R4歳出決算額	900千円	翌年度繰越額	0千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		100.0%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適当か	段階的に減額・廃止	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	自治連各支部の収益がなくなることへの抵抗感があり、分別しなくてよいのかという理論展開が予想される。
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	自治連各支部からの報告を受けている。
	支出額・補助・負担率は適正か	検討が必要	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成	
	交付先の事業成果は向上しているか	現状維持	びん、缶等の分別の自治会単位の取り組みへ動議付けられていると、廃止により分別の低下が予想される。
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	分別意識の低下	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	当該補助金を還元金というかたちで各支部の収集量実績により按分しており「分別指導に対する報酬」や「資源ごみ売却益の利益配分をしている」という意識があるが、「ごみ減量化のため」という意識にシフトさせる必要がある。		